

2014（平成26）年度 道弁連定期大会記念シンポジウム

# 「法教育のチカラ」

～ 次世代の可能性を拓く ～

## 【プログラム】

1 基調報告(札幌弁護士会のこれまでの取り組み)

2 法教育授業の実践紹介

札幌光星高校における法教育授業(テーマ:民主主義)の企画→授業風景→生徒の感想等の一連の流れをビデオ撮影したものを解説付きでご覧いただきます。

3 ジュニアロースクールの成果の紹介

過去のジュニアロースクール受講生のインタビューを上映します。

4 パネルディスカッション

「次世代の可能性を拓くために～弁護士・弁護士会ができること」

(パネリストは裏面にご紹介します。)

日時：2014（平成26）年7月25日（金）

午前9時～12時

場所：札幌グランドホテル本館2階 金枝の間

札幌市中央区北1条西4丁目

参加無料（事前予約不要）

## 《シンポジウムの趣旨》

弁護士会では、社会的な活動の一環として、法的な考え方を身に付けてもらうための法教育活動に取り組んできました。

法教育は、社会生活に役立つ法知識や技能の習得を目的とするだけでなく、次世代の社会を担う市民の育成のために必要な教育として、学校教育の中にも取り入れられています。

もっとも、いまだ法教育活動の重要性が社会に広く理解されるには至っておらず、弁護士と教育関係者との協力も部分的なものにとどまっています。

次世代の可能性を拓く「法教育のチカラ」を十二分に発揮するためには、今後、どのような活動を展開していくべきでしょうか。

シンポジウムでは、市民が自由に参加して政治や社会の問題について議論する「哲学カフェ」を実践している哲学者小川仁志氏や教育関係者を交えたパネルディスカッションを通じて、今後の法教育への取り組みのあり方を考えていきたいと思えます。

## 《パネルディスカッション》

パネリスト

小川仁志（徳山工業高等専門学校准教授）  
前田輪音（北海道教育大学教員）  
中村大輔（札幌光星高等学校教諭）  
作間豪昭（札幌弁護士会法教育委員会委員長）  
コーディネーター

綱森史泰（札幌弁護士会）



パネリスト

小川仁志（おがわ・ひとし）氏

哲学者。徳山工業高等専門学校准教授。1970年、京都府生まれ。京都大学法学部卒業後、伊藤忠商事入社。その後、4年半のフリーター生活を経て名古屋市役所入庁。市役所に勤務しながら、名古屋市立大学大学院にて博士号(人間文化)取得。2011年度、プリンストン大学客員研究員。専門は公共哲学、政治哲学。誰でも参加できる「哲学カフェ」を商店街にて主宰。著書『はじめての政治哲学』（講談社）、『ご近所の公共哲学』（技術評論社）、『7日間で突然頭がよくなる本』（PHP研究所）、『「道徳」を疑え!』（NHK出版）等多数。

【お問い合わせ】北海道弁護士会連合会

（札幌市中央区北1条西10丁目 札幌弁護士会館7階 電話：011-281-2428）